

# 知性を感じさせない文章について

sanukisoba

## 知性を感じさせない文章について

---

知性を感じさせない文章、というのはある。「ある種の文章批判」を書くという行為は、自らがより一層批判の対象となりうるということであり、それによって「あなたの方が程度が低いですな」という判断すらされかねないわけだが、少し書き留めておきたい。知性を感じさせない文章の特徴に着いてである。

SNSの普及に伴って色々な人が気軽に文章を公開できるようになった。これは大きなことである。それまで文章と言えば職場か学校で書くかといったものがメインで、個人的に書いた文章を公開する術といったそれはもう限られていて、ましてそれが実際に公開されるかどうかなんてのは確約されない時代だった。簡単に言えば文章を「大衆に示す」ことのできる器というのはマスメディアに独占されていたのだ。それがどうだろう、今はネット上で誰もが簡単に大衆に示すことができるようになった。あとはアクセスされるかどうかだ。このようにして従来は目に入ってくるのが無かったような文章も私たちに届くようになってきた。

そうした環境において文章に接しているとしばしば「ああ、この人は知性が無いな」と感じさせる逸品に出会うことがある。いや、書いている人が馬鹿だと言いたいわけではない。プロフィールを見てみると「慶応」だの「東京大学」だのそれなりの大学の名前が載っていたりする。もしかしたら詐称かもしれないが。そんな知性を感じない文章をいくつか眺めているうちにその共通事項に気付いたのでそれをまとめてみると「文脈において文意を伝えていない」ということに尽きる。

通常文章というのは文脈の中において意味を伝えるものである。例えば「バカ」という単語一つとって考えてみよう。

1 バカだなあといって靖明は博史の肩を叩きながら大笑いした。目にはうっすら涙すら浮かんでいた。

2 彼女は目を伏せるようにして「バカ」と小さく呟いたあと、彼の頬に軽く唇をつけた

これらの2つの文章において「バカ」という単語の意味合いは変わってくる。文章というのはそういうものであることくらい誰だって知っていることだろう。もちろん、単語の意味を勘違いされないようにこの場所においてはこの単語はこういう意味で理解してくれという回りくどい文章を書くことはある。それ自体を否定したいわけではないことは敢えて記しておく。

そしてこの話は単語レベルにとどまらない。単文であれ複数の文であれすべての文章は文脈の中で意味を伝達することができる。

1 「人の嫌がることを進んでやる」が信条なのでゴミ捨て場の掃除は僕がやります

2 「人の嫌がることを進んでやる」が信条なのであなたにゴミを投げつけます

という例をここでは考えることができる。「人の嫌がることを進んでやる」という文章ですら文

脈において意味が変わってくる（この例においては文脈というよりはむしろその行為の類型によって定義されてしまっているのであまり適切ではなかったかもしれない）。

長々と語ってしまったが、簡単に言えば文章というのはいちいち説明を入れなくてもその意味を全体において伝えることはできるんだよ、ということである。知性を感じさせない文章というのはこの点がわかっていないようだ。極端な例を挙げて言えば、文の末尾に必ず（笑）（苦笑）という言葉や顔文字を入れているようなものがそれである。

（笑）や顔文字は便利なものである。それは認める。適当に使えば良いアクセントになるしカドの立つ内容をマイルドに表現することすらできる。あたかも対面で会話をしているかのよう。だが、すべての文もしくはそこにある文の半数以上でそれが使われてしまっているとこれはもうどうしようもない。読み手としては文脈を追って意味を理解しようとしているにもかかわらず毎度毎度「この文はこういう意味ですからね！」「この文はこういう意味ですよ！」と言われ続けているに等しいのだから。まるでテレビのバラエティの字幕のような押し付けがましさである。

このような文章に接していると「いや、いちいち言わなくてわかるから」「いや、あんたはそう感じたかもしれないけれどいちいち『私はこのときこう感じました！！』とすべての局面において教えてもらいたくないから。全体見ればわかるから」から「なんだよ馬鹿にしてるのか？」とまで思えてきてしまう。ある意味においては他人の読解力を信じていない文章ということになるのかもしれない。

するとそこからはもう簡単である。この人たちはもしかしたら文脈で文意がよめない人たちなのかもしれない、だからこういう文章を書かないと文章でコミュニケーションがとれないんだ、つまりこの人たちは文章を理解する知性が乏しいんだ。というようにいとも簡単に「この人たちは知性が乏しいんじゃないの」と思えてきてしまう。そしてそうした文章を書いているのがそこそこの大学を出ているのを見ると「お前本当に大卒か？」と聞きたくなってしまう。

とまあそんなわけで俺の思う「知性を感じさせない文章」というものを簡単にまとめてみたが、こんな簡単な内容を短くまとめることができないというのは俺に知性が乏しいということの証明でもあるのだ。